

第 111 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和元年 11 月 21 日 (木) 13:30~14:30
 - 2 開催場所 湯河原町役場 第 2 庁舎 3 階 会議室 (湯河原町中央 2-2-1)
 - 3 委員総数 10 名、出席委員数 8 名、欠席委員数 2 名
出席委員：西海裕代、館石晃一、富岡久和、川口正樹、内藤喜文 (代理：小山浩之)、カ石朋香、高橋祐介、さいとう真由美
欠席委員：深田真弓、荻谷和彦
放送局側出席者 野原裕、山崎浩一、野田英尚
 - 4 委員長挨拶 西海委員長
 - 5 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
 - 6 議事 番組へのご意見
- ◆対象番組：特別番組「WE ARE 神奈川エフエムネットワーク」
10 月 19 日 (土曜日) 12:00 ~ 12:28 生放送

委員からの意見

- ・台風の後という事で皆さんの関心が高い時に放送したのが良かった
- ・コミュニティ FM が地元に着した情報を放送してくれるのは頼もしい
- ・神奈川県コミュニティ FM15 局がネットワークでつながっていることが、非常時には色々な情報が錯綜する中で地元の情報が聴けるというラジオとしての魅力を PR 出来る構成で良かった
- ・このようなイベントや生放送でつながれるという事をリスナーに繰り返し伝えていったほうが良い
- ・ラジオは一般的に災害時に強いメディア言われているがなかなかそれを発信する機会が無い。今回の番組のようにネットワークを組んでいることや、それぞれ単体の各局が活用されているということアピール出来る場となつて良い。
- ・複数局で同時生放送することにより効果的に PR 出来るような構成だった
- ・相模原のコミュニティ FM からの中継など、なぜラジオなのか？ということを知りやすく伝えている番組だった。
- ・神奈川エフエムネットワークの存在がわかって良かった。
- ・災害時におけるラジオの社会的役割の大きさがわかった
- ・ラジオは停電時にも電池で聴ける。特にコミュニティ FM では地元ならではの交通情報や避難所情報など、細かい情報が入手できる。このようなイベントを通じて日頃から PR することはとても良い。
- ・石田パーソナリティのトークが上手で楽しく聴けた。
- ・ラジオ局のつながりを知らない方もいるのでこのような番組を通じて安心感を与えることは地元密着のラジオとして良い。
- ・台風 19 号後、災害への関心が高い時期の放送だったので効果的に PR 出来たと思う。

- ・ 有難の際に聴いてもらうためにもこのようなイベントをもっと行った方がよい。
- ・ 普段家の中ではラジオを聴かないが、今回の台風で他の地域での長期間の停電などを見ると電池で聴けるラジオは情報源として大きいと思った
- ・ 相模原の局の方の中継を聴いて、現地の方がそのまましゃべることにより、細かく迅速な情報が伝えられることがよくわかった
- ・ 神奈川エフエムネットワークの存在を始めて知った。もっとこのような機会を増やして皆さんに知ってもらいたい。
- ・ パーソナリティの2人のトークが聴きやすい
- ・ 現地会場から放送が雨天で FM ヨコハマのスタジオに変更になったが番組構成は急遽変えたのか？
⇒ 局から回答 : 基本構成は変更なし
- ・ イベントを絡めて放送を行う事でラジオを聴いていない来場者に伝達することが出来るのがよい。
- ・ 台風の翌日出かけなければならぬ用事があり、通行止め等の道路情報などは中々テレビでは放送しないのでメールマガジンやラジオが役に立った。
- ・ 神奈川県ではネットワークがあり安心した。静岡県でも同様の仕組みがほしい

7 その他（報告）

- ・ 開局20周年記念事業について
 - 11/16 Ciao!つり大会
 - 11/17 柳家権之助真打昇進披露興行
 全てのイベントが終了した。

8 挨拶 (株)FM熱海湯河原 代表取締役社長 野原裕

- ・ 20周年で実施した様々なイベント実施しリスナーの拡大に努めた
- ・ 神奈川県は FM 横浜が幹事局となっているが静岡県は SBS が幹事局
- ・ 台風19号による熱海市内の断水情報、給水情報の放送は大変喜ばれた

9 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、
次回は、令和2年1月16日（木）に熱海市内で開催することになった。